

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

平成 35 年 7 月 31 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒 064-0931 札幌市中央区中島公園1番5号
氏名	一般財団法人 札幌市スポーツ協会
(代表者名)	理事長 石川 義浩

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 13 条第 4 項 の規定により、環境保全行動 第 23 条第 3 項 の規定により、自動車使用管理実施 報告書を提出します。

報告期間	平成 34 年 4 月 1 日 ~ 平成 35 年 3 月 31 日					
事業の規模	従業員数	861	人	原油換算した	6646.5	kl
	使用床面積	151451	m ²	燃料・熱・電気の合計量		
	事業所数	33	事業所	自動車使用台数	19	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	14700	メタン	N ₂ O	HFC
非エネルギー起源CO ₂			PFC	SF ₆	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署	担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス					
計画書提出根拠	条例第 13 条 (環境保全行動計画)				<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 3 項	
	条例第 23 条 (自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input checked="" type="checkbox"/> 第 2 項	
計画期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 35 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり					
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

平成 30 年 4 月 1 日～平成 35 年 3 月 31 日

【報告期間】

平成 34 年 4 月 1 日～平成 35 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	32年度結果			33年度結果			34年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	15500 t	1 %	13700 t	12 %	○	14600 t	6 %	○	14700 t	5 %	○
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	67.9 t	1 %	28.2 t	58 %	○	27.5 t	59 %	○	9.52 t	86 %	○
エネルギーの原油換算時における使用量の削減	6864.4 kl	1 %	6187.4 kl	10 %	○	6584.1 kl	4 %	○	6646.5 kl	3 %	○
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	
エネルギーの原油換算時における使用量の削減	○	